



平成 26 年 9 月 25 日

各位

会 社 名 佐世保重工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 湯下 善文
コ ー ド 番 号 7007
東京第 1 部、福岡
問 合 せ 先 総合管理本部
副本部長 今田 利則
(TEL 03-6861-7312)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 9 月 25 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 26 年 5 月 9 日に公表した平成 27 年 3 月期の業績予想を修正すること、並びに平成 27 年 3 月期の決算において特別損失を計上することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 30,000	百万円 △300	百万円 △500	百万円 △600	円 銭 △3.73
今 回 発 表 予 想 (B)	30,000	△700	△900	△2,300	△14.64
差 額 (B-A)	0	△400	△400	△1,700	—
差 額 率 (%)	0.0	133.3	80.0	283.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月 期)	30,968	△1,676	△1,626	△2,848	△17.75

2. 修正の理由及び特別損失の計上

売上高は為替水準が想定よりも円安水準で推移していることによる上方要因はあるものの、一般商船修理事業の受注環境悪化による減少要因もあることから前回公表値と同額の 30,000 百万円となる見通しです。

利益面においては、為替水準の好転に伴う受注工事損失引当金の改善などが見込まれるものの、採算の厳しい新造船の建造、一般商船修理事業の売上高減少および機械部門において取り組んでいる製缶事業の採算悪化などの影響により、営業利益並びに経常利益が夫々400 百万円の悪化となる見通しです。

また、当期純利益については、以下の特別損失の発生により 1,700 百万円の悪化となる見通しです。

- ① 減損損失 1,100 百万円
機械部門の採算悪化並びに一部の遊休資産の時価下落などに伴うもの
- ② 環境対策費用 250 百万円
低濃度 PCB 機器処分費用

上記特別損失は、平成 27 年 3 月期第 2 四半期に計上予定です。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、当社としてその実現を約束する趣旨のものではなく、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績等は様々な要因により、この業績見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。なお、実際の業績に影響を与える要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

以上